

意見番号	該当頁	項目	意見	意見に対する市の考え方	計画への反映
1	15	②調査概要（調査対象者）	「四万十市子ども計画」を策定するのであれば、少なくとも未就学児童は別にして、小・中学生のアンケート調査をすべきである。子どもがまんかになっていない。	小中学生に対しては、こどもサミットの開催にあわせ、全児童・生徒を対象にアンケート調査を行っています。紙面の都合で全てのデータを掲載することはできませんが、アンケートにより小中学生の意見を参考にしていく旨を追記し、実施結果を公表している市ホームページの該当ページの紹介を紙面上に追記します。	P62「1 四万十市こどもサミット」の項目に、小中学生へのアンケート実施の記述を追記。市ホームページの掲載箇所を追記。
2	17	③調査結果から見える課題	Q「土曜日と日曜日・祝日に、保育所等に利用希望はありますか。」の設問はあるが”延長保育についての質問がない”このことは、P28の利用状況が示されており利用が増加している。P55⑩延長保育事業、P60⑥地域の実情に応じた取り組みの中で、触れられているが、四万十市男女共同参画計画のP50、2「子育てや介護を支援する環境づくり」に「延長保育や放課後児童クラブなどの子育て支援を充実すること」が求められている。また、P51施策の方向の多様な保育サービスの充実「多様な保育ニーズへの対応を図るため、通常保育の内容は体制の充実に加え、延長保育や（中略）、保育サービスの充実を図ります。」と言っていることからして、ニーズがあることを把握しながらアンケートの調査項目に入っていないことは恣意的にこの項目を行っていないように思われる。上記の小・中学生のアンケートを含め再調査が必要と思われる。	保護者アンケートにおきまして、ご意見いただきました延長保育及び放課後児童クラブの利用ニーズに関連する調査を行っています。今回は紙面の都合で、保護者ニーズの高い項目のみ掲載を行っておりますので当該調査結果は掲載していません。全調査項目を掲載することはできませんが、全ての調査結果を公表している市ホームページの該当ページの紹介を紙面上に追記して、閲覧ができるようにします。	P63「2 子ども・子育て支援に関する市民の意識調査結果」の項目の冒頭に、紙面の都合で全ての結果が掲載できていない旨の説明文を追記。市ホームページの掲載箇所を追記。
3	25 (77)	(2)子ども・若者の意識に関する調査結果	Q「あなたは将来も四万十市で生活したいと思いますか。」の設問について、あまり思わない、全く思わないが59.1%となっている。この事は大変な重大な事であるにもかかわらず。この事に対して「子どもの意見を聴き、対話しながら、全ての子ども・若者が幸せな状態で成長できるまちづくりを進める必要があります。」との調査結果から見える課題のコメントである。この結果から、若者が生活したくないまちとは、大変重要であるにもかかわらず安易な課題、表面的にしか捉えていない。このような重大な問題に対して、その原因が何か、どのような対策をしなければならないかを深掘りし、真剣に検討すべきところである。再考を求める。	課題に対して具体的な対策が無いとの指摘と解しましたが、第4章施策の展開の基本目標5「若者のウェルビーイングの実現への支援」において、若者が幸せな生活を送るための支援施策の方針を定めているほか、他の項目においても、子どもがふるさとを愛する心を育むことができるよう取り組むこととしております。	修正なし
4	25	(2)子ども・若者の意識に関する調査結果	市内在住の高校生年代の若者に対して実施された調査において、「あなたは将来も四万十市で生活したいと思いますか」との問いに、回答者の約6割が「あまり思わない」または「全く思わない」を選んでいることに驚きました。私は四万十市に移住した身ですが、暮らしやすく魅力のある市だと感じています。昨年できた「みんなでつくる まちづくり財団HATA!」とも連携し、より良い地域をつくりたいです。	ご意見いただいたとおり「将来も四万十で生活したいか」という問いには否定的な回答が多くありましたが、同ページ内で紹介している「四万十市は住みやすいまちと思うか」という問いには約8割が肯定的な回答となっています。また、紙面の都合で掲載はしていませんが、進路に関する質問では回答者の8割以上が進学を希望しています。学業のために一度は四万十市を離れた若者が、将来は四万十市に戻ってきて、この街で子育てがしたいと思ってもらえるよう魅力あるまちづくりに取り組んでいきたいと思っています。	修正なし
5	39	(2)学童期・思春期の支援の充実	命の大切さの学びにおいて、性についての教育も学校の授業でしていただいている事は認識していますが、参観日に全体へ講師を招いての講演など、親も子も同じ知識や、考え方を共有出来るような取り組みにも注力してほしいです。	ご意見いただいたとおり、保護者とともに取り組むことは重要ですので、保護者の参加に関しての記述を追記します。	P39「〇いのちを大切にすることを育む教育の充実」の文中、「さらに、」の後に「保護者も子どもとともに学ぶことのできる機会を提供し、家庭において親子が共通の認識のもと性や命に対して向き合うことができるよう取り組むとともに、」を追記します。
6	41	基本目標3こどもの健やかな育ちへの支援 (1)生きる力を育む教育の環境整備	「〇効率的な教育環境の整備」この標記では、子どもたちのための教育環境の整備ではなく経済性を優先したものとしかとれない。更に、四万十市教育振興基本計画、四万十市立小・中学校再編計画（2次）にもこのような言葉は記載されていない。このため、「望ましい教育環境の整備」とすべきではないか。また、この項目の「地域・保護者の理解を得る努力をし、必要に応じて学校の再編等を検討します。」との記載であるが、教育長は地域・保護者の理解を得るまでは再編はしないと、言い切っており、「地域・保護者の理解を得て、必要に応じ・・・」に変更すべきである。	経済性を優先しているような誤解を与えないために、題目の修正を行います。地域・保護者の理解にしましては、地域及び保護者の皆様との対話に努める方針を示した文言です。本計画は個々の施策（取り組み）内容まで決定するものではありません（子ども子育て支援事業部分を除く）ので、ご理解ください。	P41「〇効率的な教育環境の整備」を「〇効果的・効率的な教育環境の整備」に修正。
7	41	基本目標3こどもの健やかな育ちへの支援 (1)生きる力を育む教育の環境整備	「〇地域学校協働活動の推進」について、学校運営協議会の設置は法律、四万十市の規則において、設置されておりその記述がない。同協議会は校長からの基本方針等に対し承認をすることができ重いものであることから「学校運営協議会」の在り方等の記述は必要である。	学校運営協議会の在り方については、法律及び規則に定められており、本計画で方針を示す性質の施策には無いと考えています。なお、地域学校協働活動を推進していくには、学校運営協議会を含む「コミュニティ・スクール」との連携は不可欠ですので、「コミュニティ・スクール」との連携に関する記述を追記します。	P41「〇地域学校協働活動の推進」の文末に「また、地域学校協働活動を実施する際には、コミュニティ・スクールと密接に連携し、より学校と地域住民等が一体となって子どもたちの成長を支えていくよう取り組みます。」を追記します。
8	-		こどもの権利について学ぶ事で大人の私たちも学ぶ事が多いなと思いました。子どもたちがこの地域で育って良かったと思えるような取組みや活動を期待しています。	貴重なご意見として今後の取り組みの参考とさせていただきます。	修正なし